



## 図書館・美術館の事業と予定



### 【1階・展示コーナー】

来年度開催予定の東京オリンピックにちなみ、おすすめコーナーではスポーツに関する本を紹介しました。

その他、お月見の由来についての本や、認知症に関する本なども紹介しました。



### 【図書館講座】

10月24日（土）、文化ホールにて、学校司書・保育士・図書館ボランティアなど、読み聞かせに携わる方々を対象とした『読み聞かせ講座』を開催しました。講師にNPO法人山梨子ども図書館理事長、宮崎さな系氏をお招きし、参加者はとても興味深く聞き入っていました。この講座で紹介された本は館内でも展示しておりますので、お気軽にご利用ください。



### 【おはなし会】

のんたんのへやでは、リトミック教室・3B体操のほか、ハロウィンパーティーなどが行われました。また、佐野地区ふれあいサロンでは、職員が手遊びやゲーム、読み聞かせなどを行い、楽しいひとときを過ごしました。



### 【図書館の予定】



- ・乳幼児リトミック教室  
12月2日（水）午前10時30分～11時30分  
講師：佐野貴子先生／長洞まゆ先生
- ・乳幼児おはなし会 のんたんのへや  
12月9日（水）・16日（水）  
午前10時30分～11時30分
- ・図書館映画会  
12月5日（土）  
午後3時～4時
- ・宮西達也展講演会（クリスマス会）  
12月13日（日）  
午前10時～（要申込）

※各種催し物は、新型コロナウイルス感染予防のため中止になる場合があります。なお、中止の場合はFM告知放送でお知らせします。

### 【美術館の予定】

**宮西達也**  
なんだア  
ランド展

入場料 無料

イベント  
宮西達也展をやってみよう。  
宮西達也先生の絵を模写して、自分だけのランド展を開催しよう。

2020年  
11月28日[土]～12月27日[日]

近藤浩一路記念南部町立美術館

## NEW 新着図書



## 「見果てぬ花」

浅田次郎著  
小学館

旅は人生なのである。京都で遭遇した不思議な面々を描く表題作、北海道の名湯での驚きの体験を綴った「忘れじの宿」など、全41篇を収録する。

## 「とわの庭」

小川糸著  
新潮社

帰って来ない母を一人で待ち続ける。そんな時、力を与えてくれたのはピアノの音、手製の雑巾、犬のジョイ。草木や花々、鳥の声。生命の力に支えられ、光に守られて生き抜く少女を描いた書下ろし長篇小説。



## 「人間の道理」

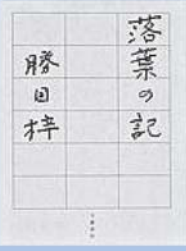
曾野綾子著  
河瀬書房新社

平穏だけを望んで生きることはできない、ウイルスを回避しすぎるのが本質ではない、自分は不幸という固定観念をなくす。コロナ後の生き方を模索する人へのメッセージ集。

## 「落葉の木」

勝目梓著  
文藝春秋

純文学、ハードボイルド、私小説など、322冊を上梓した孤高の作家による最後の作品集。亡くなる前日まで書いていた長編「落葉日記」をはじめ「ひとこと」など全8編を収録。



## 「古関金子」豊橋生まれの音楽家・古関裕而の妻

岩瀬彰利著  
豊川堂

約5千曲の名曲を残した作曲家・古関裕而。その影には妻・金子の支えがあった。NHK連続テレビ小説「エール」のヒロインのモデル・古関金子を取り上げ、幼少期から裕而との出会い・結婚、晩年まで、その生涯に迫る。

## 「戦時昭和の作家たち」

永吉雅夫著  
青弓社

芥川賞受賞作を銃後・外地・皇民化の視点から読み解く。「戦時昭和」期の国内の作品や外地の文学がどう受け止められたのか、作家たちの人間模様も緻密に考察して、文学と社会の相互浸透を解明する。



## 「信長徹底解説 ここまで」わかった本当の姿

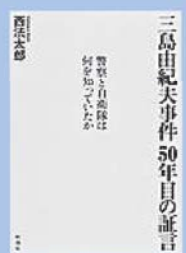
堀新著  
文学通信

織田信長はいかに記録され、どのようにフィクションで描かれてきたか。歴史学と文学の両分野からアプローチし、それぞれ最新の研究動向をふまえて論じ尽くす。信長関連の作品目録、演劇作品初演年表も収録。

## 「三島由紀夫事件50年目の証言」警察と自衛隊は何を知っていたか

西法太郎著  
新潮社

昭和45年11月25日、三島由紀夫事件の日。そこで何が起こっていたのか。公安は察知していたのか。生き残った楯の会隊員は何を語ったのか。非公開だった裁判資料や、関係者への取材から、半世紀を経て今なお深い謎に迫る。



テーマも多岐にわたり印象的なタイトルが多い新書！読みやすさが重視されています！

## 「すばやく鍛える読解力」

樋口裕一著  
幻冬舎新書

キーワードの定義が曖昧な文章、役所の官僚的で硬い文書、癖のある言い回しが多い新聞コラムといった文章を、速く正確に読み解くコツを、豊富な例文とともに解説。資料の要約や飛ばし読み、論理的思考などが身につく。

## 「日本の医療の不都合な真実」

森田洋之著  
幻冬舎新書

病院数も病床数も世界一多い日本で、なぜ医療崩壊の危機が叫ばれているのか。コロナ禍で露呈した日本の医療の問題点、衝撃の実態を明らかにし人生の主導権を医療に奪われない生と死のあり方を問う。

